

2011年度 につぼん子育て応援団 活動報告書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

1 啓発活動

- ・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 221922 (2012年3月31日現在) (同年3月31日現在 153835)

1) サイトにおける子ども・子育て応援サポーター宣言の個人及び企業・団体、自治体首長への呼びかけと、寄せられた宣言のサイトへのアップ。

	2012年3月31日現在 (2011年3月31日現在)
個人サポーター宣言	2032人 (1698人)
企業・団体サポーター	27社 (27社)
NPO・市民団体サポーター	173団体 (145団体)
自治体首長サポーター登録	31人 (31人)

2) 子ども・子育てに関する国の動きと連動した応援団事業開催のつど、その内容を公式サイトにアップ。

- ・子ども・子育て新システム検討会議ウォッチングブログ

- 1) 子ども・子育て新システム検討会議作業グループ各ワーキングチームの解説付き傍聴レポート
- 2) 政府関係者及び各政党への要望書提出報告記
- 3) 「子ども・子育て新システム」関連法案国会提出の報告

- ・「鯉のぼりに乗って国会まで届けみんなの声」→

「鯉のぼりに乗せて応援しよう！被災地の子どもと子育て家庭」

子ども・子育て家庭の声を鯉のぼりに託し、国会に届けようと2010年度に展開したが、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地への応援メッセージを添えた鯉のぼりを被災地に届ける企画に変更。

全国から50匹の鯉のぼりが届き、堀田団長と安藤団長、事務局で手分けをして、ゴールデンウィーク期間に被災地21カ所へ直接届けた。ゴールデンウィーク後に届いた鯉のぼりと、福島県の4団体からお礼として届いた鯉のぼりを、6月のチャリティーイベント及び10月のフォーラム会場に掲示した。募集告知、全国から届いた鯉のぼりと団体の紹介、被災地での手交の様子をブログで報告。

- ・チラシ作成・配布事業 前年度のチラシを一部改定、配布。

- 1) 活動内容を記したチラシを一部改定、配布。(2000枚)
- 2) 活動内容を記したチラシを増刷、配布。(2000枚)

2 調査研究活動

- ・自治体におけるNPO・市民団体との協働に関する意識調査(愛のキャンパ中央助成事業)

2010年度に引き続き、全国の市町村に向け、現行の子育て支援サービスと地元NPO・市民団体との協働状況についての意識調査を実施。104自治体から回答を得て、報告書にまとめた。関係団体に配布、残部を希望者に送付のほか、2012年度開催のフォーラムで配布予定。

3 情報提供・交流活動

- ・「被災地の子育て支援ネットワーク」事業（WAM 助成事業）

鯉のぼりを被災地に届けたことがきっかけとなり、東日本大震災被災地での子ども・子育て家庭の現状に、現行の子ども・子育て支援施策が抱える課題が凝縮されていることがわかった。どのような状況においても担保すべき子どもを取り巻く環境を支える仕組みをどのように作っていくか、被災地から学び、全国の市民団体と課題を共有、知恵を出し合うことにより、被災地における課題の解決と先進的な取り組みの実施につなげることを目的に、「被災地の子育て支援ネットワーク」事業を行った。

1. 現地ヒアリングの実施

10月10日、11日 岩手県盛岡市、大槌町

いわて子育てネット、堤乳幼児保育園

10月15日、16日 宮城県仙台市

日本冒険遊び場づくり協会、災害子ども支援ネットワークみやぎ

2. 東日本大震災復興子育て応援フォーラムの開催

10月30日（日）13：30～16：45 大正大学8号館（東京都豊島区巢鴨）

参加者：100名

ゲスト 厚生労働大臣 小宮山洋子さん

岩手県・宮城県から被災地で子ども・子育て支援活動を行う NPO 市民団体および行政職員をお呼びして、震災発生前から発生直後、その後について現状報告をしてもらい、第二部では小宮山洋子・厚生労働大臣にも登壇いただき、被災地からの声を直に聞いてもらった。

3. 子ども・子育て新システムを真に実効的なものにするための要望書提出

ヒアリングとフォーラムから学んだことを要望書にまとめ、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）、厚生労働大臣・大臣政務官、各政党担当議員に手交または郵送。

4. 東日本大震災復興子育て応援会議 in 仙台の開催

1月30日（月）10：00～14：00 ショーケイ本館ビル2階会議室（仙台市青葉区五橋）

参加者：20名

現地での支援に取り組む全国規模の企業2社と NPO 関係者、行政関係者が参加。

5. 事業実施報告書「誰も孤立させない子育て支援の仕組みづくり」の発行

300部作成し、ヒアリング、フォーラム開催、子育て応援会議の参加者および関係者、マスコミ各社、要望書提出先（内閣官房長官、内閣府特命担当大臣、厚生労働大臣ほか各政党）に送付。応援団公式サイトへのアップを予定。

- ・企業サポーター意見交換会の開催。

2011年10月5日（水） 17：00～19：30 日本女子会館で開催。

日頃の応援に対する感謝の気持ちを伝え、につぼん子育て応援団の活動への理解を深めるとともに、企業・団体サポーターの意見を直に聞き、サポーター同士の交流も深めてもらおうと企画

参加者：7社 9名

- ・メールマガジンの発行 毎月1回発行

サポーター宣言をしてくださった個人、企業・団体、自治体を中心に、子ども・子育て関係のイベントなどを紹介。

企業・団体サポーター紹介コーナーを新設

- ・サポーター登録団体用告知ブログおよびウォッチング・ブログの運営

サポーター団体のイベントや発行物等を告知するとともに、子ども・子育て新システム検討会議の傍聴記や勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介。

- ・調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや集会などを通じて行う。また、各プロジェクトの知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を

開催する。

→東日本大震災復興子育て応援フォーラムと会議 in 仙台の開催。(WAM助成事業)

*いずれのイベントも、画像を交えて報告記事を公式サイトにアップ、情報提供に努めた。

・ NPO・市民団体の交流促進

公式サイト内に NPO・市民団体紹介コーナーを開設、各団体の活動を紹介するとともに、NPO・市民団体メーリングリストを立ち上げ、各団体の情報交換の場として提供。

・ 東日本大震災対応

1. 情報提供サイトの特設

公式サイト内の関連団体告知ブログを利用して、子どもおよび子どもと暮らす家庭に特化した震災関連情報を逐次アップ、被災者向けと支援したいひと向け、義援金・支援金情報、チャリティーイベント情報、災害時の心のケア情報などの情報提供を行った。

2. 鯉のぼりに乗せて応援しよう！ 子どもと子育て家庭チャリティーイベント

鯉のぼりお届け報告と被災地の現状報告と提案を行うとともに、ファザーリングジャパン会員による絵本ライブを交えたトークライブと、チャリティーバザーを併設したチャリティーイベントを開催。

6月4日(土) 13:30~16:00 ころば大森多目的室(東京都大田区大森北)

参加者: 120名

バザー売り上げ: 10万3210円

バザー協賛企業: 株式会社タカラトミー、全日本空輸株式会社、株式会社資生堂、株式会社小学館集英社プロダクション

3. 被災団体への支援金寄贈

チャリティーイベントなどによるバザーの総売り上げから、応援団登録団体のうち東日本大震災で被災した2団体に、各6万円、計12万円を支援金として寄贈した。

寄贈団体: goそだてチーム いっぼ(福島県田村郡小野町)

だがし&休み処 八幡みんなの家(宮城県仙台市)

4 政策提言活動

・ 10月30日に開催した東日本大震災復興子育て応援フォーラムで提言発表。(WAM助成事業)

「東日本大震災復興子育て応援フォーラム ～誰も孤立させない子育て支援のしくみづくり～
子ども・子育て新システムへの提言」

1. すべての子どもが何らかの支援につながる仕組み

2. 包括的な支援の実施と人材の養成

3. 普段からの切れ目のない支援の実施とそれを支える財源の確保

4. 子ども・子育て会議の全市町村への設置と当事者の参画

5. 未来を託す子どもへの配慮

・ 東日本復興子育て応援フォーラムを通じて得られた知見を元に「子ども・子育て新システムを真に実効的な仕組みにするための要望書」を作成、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣、厚生労働大臣、同政務官、さらに自民党、公明党、社民党、共産党、国民新党、みんなの党、たちあがれ日本、新党改革、新党日本に提出。(2011年12月15日、19日に実施)

「子ども・子育て新システムを真に実効的な仕組みにするための要望書」

1. 今こそ、決断の時！ 子ども子育て施策にもっと財源を！
「若い世代は子どもが生まれません」「応援してくれる雰囲気もないし」
「誰もが安心できるしくみづくりにお金を使って欲しい」
2. 「新システム」をもっと教えてください
「いつから始まるの？」「どんな中身？」「私たちにどう関係あるの？」「幼稚園と保育園だけの話なの？」「どう変わるの？」「何が新しいの？」「積極的に説明会をして！」
3. 本当に「すべて」の子どもにしてね
「親が家にいても使える制度なの？」「どの子どもでも受け入れて貰えるの？」
4. 知らないところで決めないで！ 私達にも決めさせて！
「どうしたら参画出来るの？」「一緒に決めさせてよ」
「使えない制度を作らないでよね」「私達は参加したいんです」
5. 質の向上につながるしくみを求めます！
「子どもの施設は詰め込みにならない？ 毎日利用できるの？」「住んでる地域で違っちゃうの？」
「子どもにとって安心できる環境を！」「誇りを持って続けられる職業に！」
6. “私たち”らしい子育てができるしくみにしてほしい
「産院から帰った途端、不安です」「私たちらしい子育てに、寄り添ってくれる相手がほしい」

当事者の気持ちに沿った表現とイラストを添えて訴求力を高めた。

・震災復興の地からこそ、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり、新しい子ども・子育て支援策をと、東日本大震災被災自治体の復興計画策定中の自治体に向け、「子どもたちがいきいき遊べる、子育てしやすいまちづくり」の要望書を送付した。岩手県・宮城県沿岸部および福島県浜通り・中通りの80市町村に送付した。(2012年3月中旬に送付)

「子どもたちがいきいき遊べる、子育てしやすいまちづくり」の提言

1. 子どもたちが、いきいき遊び、育ち、学べるまち
子育てがしやすい、社会全体で子育てを支援するまちに
2. 子どものための施設は、地域のまん中に
3. 「すべての子ども」を支援するまちに
4. まちづくりに子どもと子育て中の保護者の参画を
5. 子ども・子育て新システムを先取りしたまちづくりを

5 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会を毎月1回、事務局会議を毎週1回開催した。

につぼん子育て応援団 平成23年度会計報告

(H23年4月1日～H24年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,230,000	900,000	900,000	0	-330,000
2. 賛同金収入	360,000	79,035	79,035	0	(280,965)
3. 民間助成金収入	3,193,000	3,193,000	0	3,193,000	0
4. 販売収入	0	0	0	0	0
5. 寄付金収入	100,000	236,570	236,570	0	136,570
6. 借入金	0	0	0	0	0
7. 雑収入	10,000	91,902	91,902	0	81,902
当期収入小計 (A)	4,893,000	4,500,507	1,307,507	3,193,000	-392,493
前年度繰越金 (B)	554,731	554,731	554,731	0	0
収入合計 (A)+(B)	5,447,731	5,055,238	1,862,238	3,193,000	-392,493

【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	260,000	257,000	257,000	0	3,000
2. 人件費支出	600,000	354,325	354,325	0	245,675
3. 謝金	20,000	10,000	10,000	0	10,000
4. 交通費	216,000	187,433	187,433	0	28,567
5. 会議費	10,000	23,094	23,094	0	-13,094
6. 通信運搬費	100,000	111,999	111,999	0	-11,999
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	100,000	23,410	23,410	0	76,590
9. 消耗品費	50,000	41,107	41,107	0	8,893
10. 備品費	0	0	0	0	0
11. 助成金事業費	3,193,000	3,193,550	550	3,193,000	-550
12. 支払手数料	4,200	1,470	1,470	0	2,730
13. 雑費	12,000	49,500	49,500	0	-37,500
14. 委託費	350,000	42,000	42,000	0	308,000
当期支出小計 (C)	4,915,200	4,294,888	1,101,888	3,193,000	620,312
当期収支差額 (A)-(C)	(22,200)	205,619	205,619	0	227,819
次期繰越収支差額 (D)	532,531	760,350	760,350	0	227,819

*1. WAM助成金については、WAM助成金から決算の確定がなされていないため、予算額での決算計上としている。確定後の金額は次期決算時に計上する。

にっぽん子育て応援団 平成23年度WAM助成事業会計報告

(H23年4月1日～H24年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	差額	
1. 会費収入	0		0	
2. 賛同金収入	0		0	
3. 民間助成金収入	2,643,000	2,421,000	-222,000	*預かり金として一般会計に算入
4. 販売収入	0		0	1000円未満切り捨て
5. 寄付金収入	0		0	
6. 借入金	0		0	
7. 雑収入	11,000	2,080	-8,920	*保育料2000円、利息80円
当期収入小計 (A)	2,654,000	2,423,080	-230,920	
前年度繰越金 (B)	0	0	0	
収入合計 (A)+(B)	2,654,000	2,423,080	-230,920	

【支出の部】

科目	予算	決算	差額
1. 借料・損料	382,350	62,090	320,260
2. 人件費支出	544,000	769,620	-225,620
3. 謝金	327,200	376,400	-49,200
4. 交通費	535,000	390,950	144,050
5. 会議費	49,800	38,429	11,371
6. 通信運搬費	205,400	128,680	76,720
7. 制作費	0		0
8. 印刷製本費	284,200	292,250	-8,050
9. 消耗品費	28,000	35,864	-7,864
10. 備品費	0		0
11. 助成金事業費			0
12. 支払手数料	22,680	14,265	8,415
13. 雑費	0		0
14. 委託費	265,000	315,000	-50,000
当期支出小計 (C)	2,643,630	2,423,548	220,082
当期収支差額 (A)-(C)	10,370	(468)	-10,838
次期繰越収支差額 (D)	10,370	(468)	-10,838

につぼん子育て応援団 平成23年愛のキャンパ中央助成事業会計報告

(H23年4月1日～H24年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	差額
1. 会費収入	0		0
2. 賛同金収入	0		0
3. 民間助成金収入	550,000	550,000	0
4. 販売収入	0		0
5. 寄付金収入	0		0
6. 借入金	0		0
7. 雑収入	0	0	0
当期収入小計 (A)	550,000	550,000	0
前年度繰越金(B)	0	0	0
収入合計(A)+(B)	550,000	550,000	0

【支出の部】

科目	予算	決算	差額
1. 借料・損料	0	0	0
2. 人件費支出	100,000	104,750	-4,750
3. 謝金	100,000	114,000	-14,000
4. 交通費	0	0	0
5. 会議費	0	0	0
6. 通信運搬費	90,000	56,550	33,450
7. 制作費	0		0
8. 印刷製本費	180,000	221,480	-41,480
9. 消耗品費	80,000	51,828	28,172
10. 備品費	0		0
11. 助成金事業費			0
12. 支払手数料	0	0	0
13. 雑費	0	1,942	-1,942
14. 委託費	0	0	0
当期支出小計 (C)	550,000	550,550	-550
当期収支差額(A)-(C)	0	(550)	-550
次期繰越収支差額 (D)	0	(550)	-550